

令和8年度 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 推薦要領

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会では、毎年、継続的な活動を通じて、3Rを基盤としたサーキュラーエコノミーへの移行に貢献した個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等を表彰する「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を実施しています。

このたび令和8年度の募集を開始いたしますので、多数ご推薦くださいますようお願い申し上げます。

この表彰は、サーキュラーエコノミーへの移行に貢献する様々な活動を推薦募集対象にしています。対象となる範囲は、原材料の投入から製品が使用済みになって再び原材料になるところまでのすべての段階です。また、これらの循環の仕組みの構築なども対象です。

学校やボランティアグループにおける、他のモデルとなるような回収活動、子どもの学びにつなげる教育、消費者への行動変容なども対象です。

資源の有効利用に貢献する製品の長期耐久設計、資源として分離・分別しやすくするための易解体設計、リペアなどを容易にする設計、製品のシェアリング等による効率的利用、リユース品流通の促進、広域認定制度など制度を活用した効率的な資源の回収などの活動もこの表彰の対象です。

また、資源だけで完結するのではなく、資源循環と組み合わせて脱炭素、地域振興などの課題を解決している活動も対象です。ただし、資源循環が主ではない活動は表彰の対象外です。

※ 推薦にあたっては「審査基準」(6ページ)の評価項目をご考慮ください。

※ 既に比較的普及している資源循環に資する取組であっても他と比較して優れたところ、進んだところ、独自なところがあれば対象です。

- 推薦機関からの推薦締め切り

2026年4月17日(金) 協会に必着

- 推薦締め切り後のスケジュール

審査結果通知(推薦機関宛): 2026年9月下旬 予定

表彰式: 2026年10月下旬、東京 予定

- ご提出先及び問い合わせ先

一般社団法人 千葉県産業資源循環協会

〒260-0013 千葉市中央区中央3-3-1 フジモト第一生命ビルディング5階

TEL: 043-239-9920

E-MAIL: info@chiba-sanpai.or.jp

主催 リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

<目 次>

表彰制度の概要、応募方法等	1
推薦一覧 様式	7
推薦書 様式	9
候補者の概要書 様式1 (個人・グループ・学校用)	11
候補者の概要書 様式2 (事業所・地方公共団体等用)	19
<参考1>表彰の募集対象となる取組の例	26
<参考2>過去5年間の受賞者	28

表彰制度の概要、応募方法等

1. 目的

リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再資源化・再生利用）（以下「3R」といいます）に継続的に取り組み、顕著な実績を挙げている者を表彰することにより、これらの活動を奨励し、サーキュラーエコノミーへの移行を推進することを目的としています。

2. 主催

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

3. 後援

後日、協議会ホームページにて掲載

4. 募集対象

3Rの活動等を通じて、サーキュラーエコノミーへの移行に継続的に貢献した「個人・グループ・学校」及び「事業所・地方公共団体等」（以下「候補者」といいます）。具体例は、26～27ページの「表彰の募集対象となる取組の例」を参考にしてください。

※ 推薦にあたっては「審査基準」（6ページ）の評価項目をご考慮ください。

（対象者）

○「個人・グループ・学校」： 個人、自治会、ボランティア、学校 等

○「事業所・地方公共団体等」： 企業、工場、都道府県、市町村 等

※ 複数の企業等がグループで行う活動は、「事業所・地方公共団体等」です。

※ 学校と企業の連名などの場合、どちらがより主体的に活動を行っているかによって「候補者の概要書」の様式を選んでください。不明な場合は、事務局（表彰推薦受付係）までご連絡ください。

5. 賞の種類

後日、協議会ホームページにて掲載

6. 募集方法

本表彰では、以下の①～③の推薦機関からの推薦により「4. 募集対象」に定める候補者を募集します。

候補者が直接当協議会に自薦応募することはできません。

①リデュース・リユース・リサイクル推進協議会の会員団体

②地方自治体（都道府県、政令指定都市、中核市、特別区） ※2026年1月基準

③建設副産物対策地方連絡協議会

7. 応募の方法

(1) 提出書類

推薦機関は、この推薦要領に定める様式により、以下の書類を提出してください。

- ①推薦一覧（推薦案件全体に対して1通作成）
- ②推薦書（候補者1件につき1通ずつ作成）
- ③候補者の概要書（候補者に作成を依頼し、内容を確認）

併せて、活動の様子がわかる写真、参考資料（パンフレット等）があれば、③に添付してください。提出書類の様式、提出部数等は下表をご参照ください。

この推薦要領（Microsoft Word 形式）はリデュース・リユース・リサイクル推進協議会のホームページからダウンロードできますのでご利用ください。（<https://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/commend/>）

提出書類		書類の作成者	記入様式	提出部数
①推薦一覧（推薦案件全体に対して1通作成してください。）各正会員から連合会への提出は不要		推薦機関	7 ページ	①推薦一覧 各正会員から連合会への提出は不要 ②推薦書：4部（正1部、副3部）+電子データ ③候補者の概要書：4部（正1部、副3部）+電子データ
②推薦書（1件の候補につき1通ずつ作成して、「③候補者の概要書」を添付してください。）*		推薦機関	9～10 ページ	
③候補者の概要書（添付資料を含む）	個人・グループ・学校用【様式1】	候補者	11～17 ページ	
	事業所・地方公共団体等用【様式2】		19～25 ページ	

* 推薦機関から特に申し伝えたい事項（推薦理由等）がある場合には推薦書に記述ください。

<提出にあたって>

- ・「③候補者の概要書」は、活動内容の写真（画像データ）や図表等を添付してください。
また、活動内容に関する参考資料（パンフレット等）があれば、紙媒体2部及び電子ファイル1部を提出してください。
- ・提出書類はホッチキス留めにせず、クリップで留めてください。
- ・①～③の書類の電子ファイル（Microsoft Word ファイル）は、押印なしのままで提出してください。電子ファイルは候補者一覧データの入力、表彰結果発表冊子の原稿作成を行う際の文字のコピーなどに使用します。印刷したものをスキャナーで読み込んでPDF などに変換したもの（文字が画像になっているもの）は文字のコピーなどが出来ないため、記入したMicrosoft Word ファイルをそのまま提出してください。
- ・書き方が不明な場合、事務局（表彰推薦受付係）までご連絡ください。

(2) 推薦機関からの提出期限

2026年4月17日(金) 協会に必着

(3) ご提出方法

郵送又は持参で提出してください。

ただし、電子ファイルの提出は、Eメール（1通につき5MB以内）やファイル転送サービスなどでも可です。

(4) ご提出先

一般社団法人 千葉県産業資源循環協会
〒260-0013 千葉市中央区中央 3-3-1 フジモト第一生命ビルディング5階
TEL : 043-239-9920
E-MAIL : info@chiba-sanpai.or.jp

8. 推薦にあたっての注意事項

- ①推薦書（印刷物1部）は必ず推薦機関の代表者（協議会会員団体の長、都道府県知事、政令指定都市市長、中核市市長、特別区区長、建設副産物対策地方連絡協議会会長）、またはそれに準ずる役職者名で作成してください。
- ②必ず事前に候補者の承諾を得ておいてください。
- ③推薦機関は、「候補者に法令違反の事実は無い」「反社会的勢力では無い」「その他受賞者として相応しくない事項は無い」ことを確認のうえ推薦してください（推薦書のチェック項目をご活用ください）。
なお、チェック項目が全てクリアされている候補者であっても、審査において受賞者として不適当と判断されることがあります。
- ④過去に受賞した候補者を同じ取組内容で繰り返し推薦することはご遠慮ください。過去受賞時とは別の取組であれば推薦可能です。過去に受賞した企業の別の事業所や工場での活動、あるいは過去に受賞した建設会社や共同企業体が行う別の工事等は別の取組と見なします。
- ⑤過去受賞時の延長線上にある取組であっても、その後の拡大・発展が著しく上位賞の候補になると判断した場合は推薦可能です。その場合は、過去受賞時から拡大・発展したポイントについて、候補者の概要書の「過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況」欄に記入してください。
- ⑥同じ取組内容で過去5年間に他の表彰制度にて受賞した場合又は他の表彰制度に推薦されている若しくは応募中の場合、同じく「過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況」欄に記入してください。
- ⑦推薦機関は審査結果等については責任を負わないものとします。

9. 審査

有識者等からなる「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰審査委員会」を設置し、「審査基準」（6ページ）に基づき、応募案件の審査を行います。

10. 結果の通知

推薦機関に審査結果（入賞内定または選外）通知（9月下旬予定）を送付した後、入賞内定者には内定通知（推薦機関へ通知した1週間～10日後）を送付します。選外については特に通知いたしません。

11. 表彰式

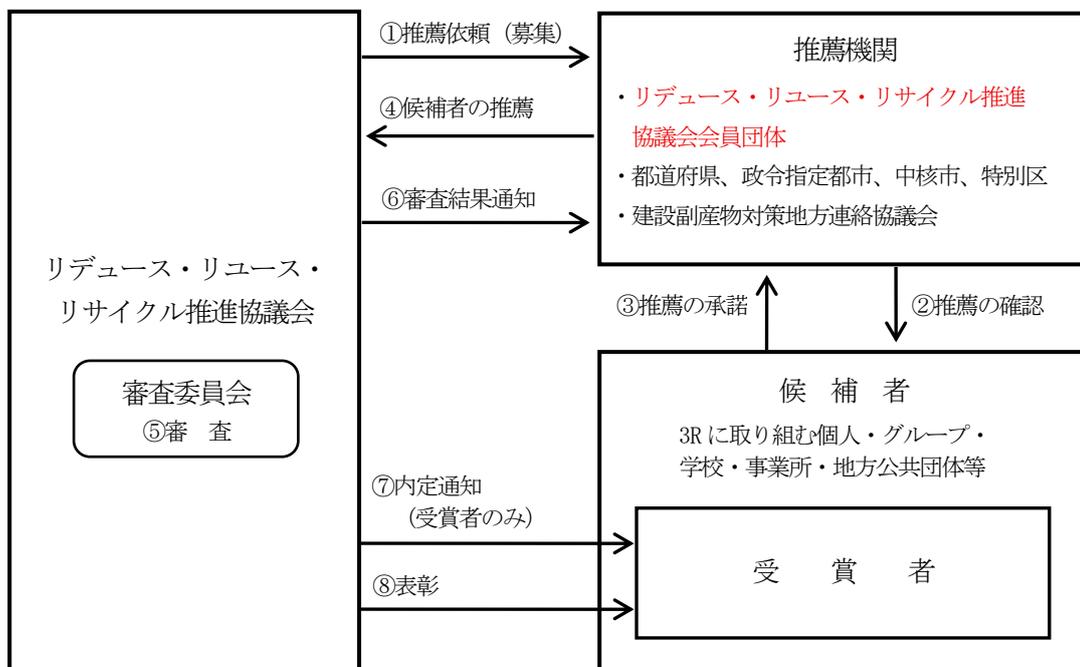
2026年10月下旬 東京都内で挙行予定

12. 個人情報の取り扱いについて

推薦書、候補の概要書等に記入された個人情報は、本表彰の実施に関連する用途以外には使用しません。

13. 募集から表彰までの流れ

千葉県産業資源循環協会の上部団体である全国産業資源循環連合会は、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会の会員団体である「建設副産物リサイクル広報推進会議」の会員です。



[募集から表彰までの流れ]

令和8年度

リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰

審査委員会委員名簿（予定）

（敬称略）

氏名	所属機関
木村文彦	東京大学名誉教授
皆藤寛	日本商工会議所 産業政策第二部 課長
角田禮子	主婦連合会 常任幹事
小澤紀美子	東京学芸大学名誉教授
斎藤正一	日経BP社 日経ESG 経営フォーラム事業部シニアプロデューサー
根村玲子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 環境委員会委員長
細田衛士	東海大学学長補佐・政治経済学部経済学科教授
藤崎雄二郎	国 税 庁 長官官房審議官
塩見みづ枝	文部科学省 総合教育政策局長
森真弘	厚生労働省 大臣官房医薬産業振興・医療情報審議官
高橋一郎	農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部長
伊藤禎則	経済産業省 イノベーション・環境局 GXグループ 脱炭素成長型経済構造移行推進審議官
鶴田浩久	国土交通省 総合政策局長
角倉一郎	環 境 省 環境再生・資源循環局長

審査基準

○個人・グループ・学校

評価項目	具体的な評価事項
継続期間	主体の特性に応じて活動の継続性を評価する。
対象品目・量等の実績、活動の効果	活動対象品目の範囲・3R 対象量等の活動実績及び活動により得られた効果（廃棄物の削減効果、省資源・省エネ効果、環境保全効果等）を評価する。
地域性	活動範囲（実施主体の特性や活動内容を勘案しつつ、活動範囲の広さを評価する。） 他主体・他地域との連携（他の3R活動主体や他地域との連携について評価する。） 地域密着性（地域の特性や廃棄物問題を踏まえた活動であるかを評価する。）
活動頻度	活動頻度を評価する。
独創性・先鞭性	当該主体で考案された独自の活動か、先進的に取り組んだ活動かを評価する。
波及効果、啓発・教育効果	他者の3R活動に与えた効果を評価する。また、機関誌の発行、講演会・研修会の開催等による啓発・教育活動を行っている場合は、その効果を評価する。
その他評価	リデュース・リユース・リサイクルの各分野にわたる活動、上記評価項目や点数配分では評価しきれない優れた項目、内容等があれば、加点する。

○事業所・地方公共団体等

評価項目	具体的な評価事項
継続期間	主体の特性に応じて活動の継続性を評価する。
対象品目・量等の実績、活動の効果	活動対象品目の範囲・3R 対象量等の活動実績及び活動により得られた効果（廃棄物の削減効果、省資源・省エネ効果、環境保全効果等）を評価する。
地域性	活動範囲（実施主体の特性や活動内容を勘案しつつ、活動範囲の広さを評価する。） 他主体・他地域との連携（他の3R活動主体や他地域との連携について評価する。） 地域密着性（地域の特性や廃棄物問題を踏まえた活動であるかを評価する。）
独創性・先鞭性	独創性・先鞭性（製品、サービス、技術、社会システム等の開発を含む）を評価する。
波及効果、啓発・教育効果	他者の3R活動に与えた効果を評価する。また、機関誌の発行、講演会・研修会の開催等による啓発・教育活動を行っている場合は、その効果を評価する。
その他評価	リデュース・リユース・リサイクルの各分野にわたる活動、上記評価項目や点数配分では評価しきれない優れた項目、内容等があれば、加点する。

(推薦機関が作成)

各正会員から連合会への提出は不要

令和8年度
リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
推 薦 一 覧

年 月 日

推薦機関名： _____

No ^{*1}	候補者名 (連名による候補の場合は、同じマスに名前を列記してください。)	連名 ^{*2}	概要書の 様式 ^{*3}
1			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
2			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
3			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
4			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
5			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
6			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
7			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
8			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
9			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2
10			<input type="checkbox"/> 様式1 <input type="checkbox"/> 様式2

- *1 11件以上の推薦がある場合、一覧を適宜追加し、番号は連番(11～)にて採番してください。
番号を追加した結果、推薦一覧が複数ページになっても問題ありません。
- *2 連名候補者を推薦する場合には、連名数を記入ください(2者連名であれば「2」)。
単独候補者を推薦する場合には、空白のままにしてください。
- *3 推薦する「候補者の概要書」の該当する様式の□欄にチェックマーク(✓)を付けてください。
(「様式1(個人・グループ・学校)」又は「様式2(事業所・地方公共団体等)」のいずれかを☑にする。)

推薦件数が1件の場合も、この一覧をご提出ください。

令和8年度
リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
推 薦 書

年 月 日

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 御中

(推薦機関名)
(代表役職・氏名)

リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の候補として下記の者を推薦します。

記

1. 候補者名 (連名による候補の場合は、行を分けて名前を列記してください。)

	(推薦一覧のNo:)
--	-------------

2. 推薦機関における候補の選定方法 (例: 担当部署又は審査会設置による選定等)

[]

3. 取組内容の確認方法 (例: 現地調査又は候補者、関係者等のヒアリング等)

[]

4. 上記候補者の他の3R関係の表彰への推薦状況

貴機関において、上記候補者を令和8年度に他の類似表彰に推薦している又は推薦を予定している場合には、その表彰について記入してください。

- ① 他の類似表彰への推薦の既済又は予定について、該当するほうに○をしてください。
ある ・ ない

- ② (①にて「ある」に○を付けた場合のみ) 下に当該表彰名を記入ください。
枠が足りない場合は、適宜追加してください。

推薦状況 (該当するほうに○)	表彰名
既済 ・ 予定	
既済 ・ 予定	
既済 ・ 予定	

※次ページに続きます

5. 候補者に関する確認

上記候補者の推薦に当たり、以下の事項を確認し、該当する場合は□欄にチェックマーク(✓)を付けてください。

<推薦について>

○ 候補者に事前の承諾を得ている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・□

<コンプライアンス等に関して>

○ 候補者に法令違反の事実はない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・□

○ 反社会的勢力では無い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・□

○ その他受賞者として相応しくない事項はない・・・・・・・・・・・・□

注) これらの項目が全てクリアされている候補者であっても、審査において受賞者として不適当と判断されることがあります。

6. 推薦理由

上記候補者について、推薦機関から見て特筆すべき活動の優れた点、または候補者の概要書を補足する内容等をご記入ください（自由形式、スペースが足りない場合には、枠を適宜拡大してください）。

7. 当推薦についての推薦機関の連絡先等

推薦機関名		
住所		(〒 -)
連絡先*	所属部署	
	氏名	
	電話番号	
	FAX番号	
	Eメール	

* 「連絡先」は、この推薦の件に関する連絡・問合せ等の窓口となる担当者をご記入してください。

候補者の概要書 (個人・グループ・学校用)

1. 候補者の名称、連絡先等

①候補者名 ^{*1} (個人・グループ・学校の名称) *1 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく 30 字以内にしてください。	カガナ (半角カナ) : <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
②取組の実践場所 (都道府県及び市区町村名を記入)	
③代表者役職・氏名	
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。)	住所 (〒 -)
	所属機関等の名称
	部署・役職
	氏名
	電話番号
	F A X 番号
	Eメール

連名による応募の場合、もう 1 者の名称・連絡先等を記入してください。3 者以上の連名の場合は、記入欄を適宜追加して、記入ください。

①候補者名 ^{*1} (個人・グループ・学校の名称) *1 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく 30 字以内にしてください。	カガナ (半角カナ) : <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
②取組の実践場所 (都道府県及び市区町村名を記入)	
③代表者役職・氏名	
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。)	住所 (〒 -)
	所属団体等の名称
	部署・役職
	氏名
	電話番号
	F A X 番号
	Eメール

2. 活動の実施内容（推薦対象の活動内容について記入してください。）

※欄内の説明文（コメント）、記入例は削除し、ご記入ください。

① 活動テーマ名

推薦対象の活動内容を端的に表す活動テーマ名を40字以内で付けてください。

② 活動概要（表彰結果発表冊子に使用します。非公開の情報は「③活動の詳細内容」にご記入ください。）

活動内容を、写真、図表なども含めて、当枠内に記入してください（MS明朝、9ポイント）。

※ 枠を上げたり、次ページに繰り越したりしないようにお願いします。

次のような項目について内容を記述ください（一例なので、このとおりでなくても問題ありません）。

- (1) どのような活動か
- (2) 取組のポイント、特長
- (3) 他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところ
- (4) 今後の予定

など

注釈

1. 写真、図表等を活用して、取組の特長などが伝わるようにご記入ください。
2. 当欄の記入内容は、受賞取組をまとめた表彰結果発表冊子に使用いたします。非公開の情報など一般公開できない内容がある場合には、当欄ではなく次ページ「3. 活動の詳細内容（審査用）」にご記入ください。
3. 過去の一部の受賞者等の活動概要（表彰結果発表冊子から抜粋）を29ページに添付していますので、ご参照ください。また、それ以外の受賞者の活動概要もリデュース・リユース・リサイクル推進協議会ホームページからダウンロードできますので、ご記入の際の参考にしてください。
(<https://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/jisseki/>)

※枠はこのまま使用して、上げたり、次ページに繰り越したりしないようにお願いします。

以下の各項目は、全項目が審査対象（未記入の場合は、当該欄の評価点がゼロ）となりますので、必ず全項目
③～⑪)ご記入ください（6 ページ「審査基準」ご参照）。

（③以降の記入欄の大きさが足りない場合は、枠を適宜広げてご記入ください。）

③ 活動の詳細内容（審査用。非公開）

具体的な活動内容について、写真・図表等を用いてご記入ください。
また、実施内容が優れている点を、期間、量、件数など客観的な数値を用いてご記入ください。

ご記入内容は次のような内容です。

- （1）活動内容の詳細
- （2）取組のポイント、特長の詳細
- （3）他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところの詳細
- （4）今後の予定の詳細

など

④ 活動開始時期・継続年数

活動を開始した年月及び継続年数を記入してください。

⑤ 対象品目・量等の実績

活動の対象品目、および過去3年間にリデュース、リユースまたはリサイクルした量の実績を記入してください（重量、体積、数量の単位は適宜変えてください）。なお、リサイクルの場合は、再生した資源の名称や用途（例：再生紙等）を記入してください。

<リデュース>

年度	年度	年度	年度
品目			
	t	t	t
	m ³	m ³	m ³
	t	t	t
	m ³	m ³	m ³
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

<リユース>

年度	年度	年度	年度
品目			
	t	t	t
	m ³	m ³	m ³
	t	t	t
	m ³	m ³	m ³
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

<リサイクル>

年度	年度	年度	年度
品目			
	t	t	t
	m ³	m ³	m ³
	t	t	t
	m ³	m ³	m ³
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

⑥ 活動の効果
<p>活動の実施により得られた効果をできるだけ具体的に記入してください。 「⑤ 対象品目・量等の実績」の付帯効果、波及効果、書ききれない効果、また「⑤ 対象品目・量等の実績」に記入したもの以外の内容があれば、記入してください。</p> <p>【廃棄物の削減効果】</p> <p>【省資源・省エネルギー効果】</p> <p>【環境保全効果】</p> <p>【その他の効果】</p>
⑦ 活動地域の範囲、他の活動主体や他地域との連携協力、地域密着性
<p>活動の実施地域の範囲を記入してください。</p> <p>他の活動主体や他地域との連携・協力について具体的に記入してください。</p> <p>地域の特性や廃棄物問題を踏まえた活動である場合には、その内容を具体的に記入してください。</p>
⑧ 活動の頻度
<p>活動の実施頻度を記入してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(記入例) びんの回収：週1回、古紙の回収：毎日、フリーマーケット開催：月1回等</p> </div>

⑨ 独創性・先鞭性

他の取組に比較して優れているところ、進んでいるところ、独自なところを記入してください。

⑩ 啓発普及・教育活動の実施、波及効果

啓発・教育活動の実施内容と成果を具体的に記入してください。

他のグループ・学校等の活動に与えた波及効果を具体的に記入してください。

⑪ その他活動の工夫点

上記以外に特に工夫・努力している点、アピールしたい点等を記入してください。

3. 過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況

今回推薦される内容が、下記(A)～(D)に該当する場合、以下の表にご記入ください。

- (A) 過去に、本表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で受賞
- (B) 過去に、本表彰制度で今回推薦される内容とは違うテーマの活動で受賞
- (C) 過去5年間に、他の表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で受賞
- (D) 本年度、他の表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で推薦されている又は応募中（予定も含む）

受賞歴及び 応募状況 (上記(A) ～(D)を 記入)	表彰制度名 (上記(C)、(D)の場合、 記入)	受賞年度 (上記(A)～ (C)の場合、 記入)	受賞した賞の種類 (上記(A)～(C)の場合、 記入)	受賞時のグループ名・学校 名が現在と異なる場合、 当時の名称 (上記(A)～(C)で該当する 場合、記入)

上記で (A)、(C)に○を付けた方は、前回受賞時から進展したポイント（例：活動内容の広がり、活動レベルの向上、実績量の増加、活動地域の拡大等）について、下記の例を参考に具体的にご記入ください。

記入例は削除して、ご記入ください。

	過去（ 年度）受賞時の活動内容	今回推薦を受ける活動内容
資源循環に資する活動の内容 (拡大発展したポイントが分かるように対比)	(記入例) ・資源ごみの集団回収活動 ・生ごみの堆肥化	(記入例) 左記の活動に加え、〇〇年から家具・日用品等の修理・不用品交換の事務局活動を開始、リサイクルのみならずリユースにも取り組むようになった。また、資源回収の対象品目も増え、活動の参加者やリサイクル量実績も格段に進展した。
対象品目について	(記入例) ・集団回収：古紙、ガラスびん、アルミ缶 ・堆肥化：生ごみ	(記入例) ・集団回収：古紙、ガラスびん、アルミ缶、PET ボトル ・堆肥化：生ごみ ・不用品交換：家具・衣類・日用品・図書等
実績量について	(記入例) ・古紙回収量：500kg/年 ・ガラスびん回収量：1,200本/年 ・アルミ缶回収量：200kg/年 ・生ごみ処理量：150kg/年 (堆肥生産量：40kg/年)	(記入例) ・古紙回収量：1,200kg/年 ・ガラスびん回収量：2,500本/年 ・アルミ缶回収量：800kg/年 ・生ごみ処理量：500kg/年 (堆肥生産量：200kg/年) ・不用品交換の成立実績：120件/年
活動の実施地域について	(記入例) 〇〇町内で実施	(記入例) 〇〇町に加え、隣接する××町、△△町に活動範囲を拡大
活動の参加者数について	(記入例) 〇〇町内の25世帯が活動に参加	(記入例) 〇〇町50世帯、××町15世帯、△△町20世帯が活動に参加するようになった。
活動の質的な向上について	(記入例) 生ごみ堆肥は、グループメンバーが自宅の庭や家庭菜園で使用	(記入例) 左記に加え、地元農家に協力を求め、野菜栽培に生ごみ堆肥を使ってもらった。
上記以外の進展事項、アピールしたいポイント	(記入例) 他の活動グループとの情報交流を通じて活動のレベルアップを図るために、〇〇年にホームページとインターネット掲示板を開設した(アドレス https://〇〇〇〇.jp)。	

候補者の概要書 (事業所・地方公共団体等用)

1. 候補者の名称、連絡先等

①候補者名 ^{*1} (事業所・地方公共団体等の名称) ^{*1} 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく 30 字以内になしてください。	カガナ (半角カナ) :
②取組の実践場所 (都道府県及び市区町村名を記入)	
③代表者役職・氏名	
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。)	住所 (〒 -)
	所属企業・機関名
	部署・役職
	氏名
	電話番号
	F A X 番号
	Eメール

連名による応募の場合、もう 1 者の名称・連絡先等を記入してください。3 者以上の連名の場合は、記入欄を適宜追加して、記入ください。

①候補者名 ^{*1} (事業所・地方公共団体等の名称) ^{*1} 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく 30 字以内になしてください。	カガナ (半角カナ) :
②取組の実践場所 (都道府県及び市区町村名を記入)	
③代表者役職・氏名	
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。)	住所 (〒 -)
	所属企業・機関名
	部署・役職
	氏名
	電話番号
	F A X 番号
	Eメール

2. 活動の実施内容（推薦対象の活動内容について記入してください。）

※欄内の説明文（コメント）、記入例は削除し、ご記入ください。

① 活動テーマ名

推薦対象の資源循環に資する活動の内容を端的に表すテーマ名を40字以内で付けてください。

② 活動概要（表彰結果発表冊子に使用します。非公開の情報は「③活動の詳細内容」にご記入ください。）

活動内容を、写真、図表なども含めて、当枠内に記入してください（MS明朝、9ポイント）。

※ 枠を上げたり、次ページに繰り越したりしないようにお願いします。

次のような項目について内容を記述ください（一例なので、このとおりでなくても問題ありません）。

- (1) どのような活動か
 - (2) 取組のポイント、特長
 - (3) 他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところ
 - (4) 今後の予定
- など

注釈

1. 写真、図表等を活用して、取組の特長などが伝わるようにご記入ください。
2. 当欄の記入内容は、受賞取組をまとめた表彰結果発表冊子に使用いたします。非公開の情報など一般公開できない内容がある場合には、当欄ではなく次ページ「3. 活動の詳細内容（審査用）」にご記入ください。
3. 過去の一部の受賞者等の活動概要（表彰結果発表冊子から抜粋）を29ページに添付していますので、ご参照ください。また、それ以外の受賞者の活動概要もリデュース・リユース・リサイクル推進協議会ホームページからダウンロードできますので、ご記入の際の参考にしてください。
(<https://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/jisseki/>)

※粹はこのまま使用して、拡げたり、次ページに繰り越したりしないようにお願いします。

以下の各項目は、全項目が審査対象（未記入の場合は、当該欄の評価点がゼロ）となりますので、必ず全項目
③～⑪)ご記入ください（6 ページ「審査基準」ご参照）。

（③以降の記入欄の大きさが足りない場合は、枠を適宜拡げてご記入ください。）

③ 活動の詳細内容（審査用。非公開）

具体的な活動内容について、写真・図表等を用いてご記入ください。
また、実施内容が優れている点を、期間、量、件数など客観的な数値を用いてご記入ください。

ご記入内容は次のような内容です。

- (1) どのような活動内容か
- (2) 取組のポイント、特長の詳細
- (3) 他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところの詳細
- (4) 今後の予定の詳細

など

④ 活動開始時期・継続年数

活動を開始した年月及び継続年数を記入してください。

⑤ 対象品目・量等の実績

対象品目、および過去3年間にリデュース、リユースまたはリサイクルした量の実績を記入してください（重量、体積、数量の単位は適宜変えてください）。なお、リサイクルの場合は、再生した資源の名称や用途（例：再生プラスチック、バイオマス、再生紙、ガス化燃料、セメント原料、高炉還元材利用等）を記入してください。

<リデュース>

年度	年度	年度	年度
品目			
	t	t	t
	m ³	m ³	m ³
	t	t	t
	m ³	m ³	m ³
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

<リユース>

年度	年度	年度	年度
品目			
	t	t	t
	m ³	m ³	m ³
	t	t	t
	m ³	m ³	m ³
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

<リサイクル>

年度	年度	年度	年度
品目			
	t	t	t
	m ³	m ³	m ³
	t	t	t
	m ³	m ³	m ³
(説明・ポイント・補足など記入してください。)			

⑥ 活動による効果

活動の実施により得られた効果をできるだけ具体的に記入してください。

「⑤ 対象品目・量等の実績」の付帯効果、波及効果、書ききれない効果、また「⑤ 対象品目・量等の実績」に記入したもの以外の内容があれば、記入してください。

【廃棄物の削減効果】

【省資源・省エネルギー効果】

【環境保全効果】

【その他の効果】

⑦ 活動地域の範囲、他の活動主体や他地域との連携協力、地域密着性

活動の実施地域の範囲を記入してください。

他の活動主体や他地域との連携・協力について具体的に記入してください。

地域の特性や廃棄物問題を踏まえた活動である場合には、その内容を具体的に記入してください。

⑧ 独創性・先鞭性

他の取組に比較して優れているところ、進んでいるところ、独自なところを記入してください。

⑨ 啓発普及・教育活動の実施、波及効果

啓発・教育活動の実施内容と成果を具体的に記入してください。

他の事業所等の活動に与えた波及効果を具体的に記入してください。

⑩ その他活動の工夫点

上記以外に特に工夫・努力している点、アピールしたい点等を記入してください。

⑪他の企業等の協力

他の企業等（納入業者・下請け企業・廃棄物処理業者・リサイクル業者等）の協力を得て 3R 等の活動を行っている場合、以下を記入してください。

(a) 協力を得ている内容を記入してください。

協力企業の業種	協力を得ている事項
(記入例) 建材メーカー	(記入例) 当工場で発生する廃棄パレットを原料にパーティクルボードを生産している。
(記入例) 資材納入業者	(記入例) 資材の空き容器を引き取ってもらっている。

(b) 協力企業における自社発生物のリサイクル状況の把握及び協力企業に対する支援等を行っている場合は、その内容を記入してください。

- (記入例)
- ・年1回、委託先の現地調査を行い、引き渡した廃棄物が確実に再生利用されたことを確認
 - ・廃液のリサイクルを委託するにあたって、共同で再生技術の研究開発を行った。

3. 過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況

今回推薦される内容が、下記(A)～(D)に該当する場合、以下の表にご記入ください。

- (A) 過去に、本表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で受賞
- (B) 過去に、本表彰制度で今回推薦される内容とは違うテーマの活動で受賞
- (C) 過去5年間に、他の表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で受賞
- (D) 本年度、他の表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で推薦されている又は応募中（予定も含む）

受賞歴及び 応募状況 (上記(A) ～(D)を 記入)	表彰制度名 (上記(C)、(D)の場合、 記入)	受賞年度 (上記(A)～ (C)の場合、 記入)	受賞した賞の種類 (上記(A)～(C)の場合、 記入)	受賞時の会社名・事業所名 が現在と異なる場合、 当時の名称 (上記(A)～(C)で該当する 場合、記入)

上記で (A)、(C)に○を付けた方は、前回受賞時から進展したポイント（例：活動内容の広がり、活動レベルの向上、実績量の増加、活動地域の拡大等）について、下記の例を参考に具体的にご記入ください。

記入例は削除して、ご記入ください。

	過去（ 年度）受賞時の活動内容	今回推薦を受ける活動内容
資源循環に資する活動の内容 (拡大発展したポイントが分かるように対比)	(記入例) 工場で発生する各種廃棄物・副産物を極力工場内でリサイクルするとともに、自社内で利用できないものは、リサイクル業者の協力により各種リサイクル製品の原料として有効利用を図った。これにより、最終処分量を5年前の1/5（発生量の20%）に削減した。	(記入例) 左記の取組に加え、工場内の各工程において製法・工法の改良、歩留り改善、容器・梱包等のリターナブル化等の手段によって、廃棄物・副産物の発生そのものを大幅に削減した。 これにより、最終処分量ゼロを達成した。
対象品目及び実施方法について	(記入例) ・塗料かす：樹脂成型品の増量材として再資源化 ・洗浄用有機溶剤：蒸留して低品位溶剤に再生 ・プラスチック端材：熔融パレット化して売却 ・段ボール箱：古紙回収業者に引き渡しリサイクル ・廃木製パレット：破碎・チップ化して建材ボード原料としてリサイクル	(記入例) ・塗料かす：静電塗装の採用で発生量を90%削減 ・洗浄用有機溶剤：純水洗浄に切替え全廃 ・プラスチック端材：工程内で100%循環利用 ・段ボール箱：通い箱に切替え発生量を95%削減 ・廃木製パレット：長寿命型のプラ製パレットの採用で発生量を60%削減。破損パレットは補修して再使用
活動の実施地域について	(記入例) 当社〇〇工場、××工場の2事業所で実施	(記入例) 左記に加え、当社□□工場、△△工場及びグループ企業の2工場に技術移転を行い、現在全国6事業所で実施している。
活動の質的な向上について		(記入例) 前回受賞時の取組内容はリサイクルに限定されていたが、現在は各工程で3R全般にわたる取組を組み合わせ、高い効果をあげることができた。
上記以外の進展事項、アピールしたいポイント	(記入例) 製法・工法の改良による副産物の発生削減技術は特許を取得した。この特許技術は同業他社や他業種の工場にも採用され、各種産業におけるリデュースの推進に寄与している。	

表彰の募集対象となる取組の例

<対象となる取組>

- ・自ら3R等の取組を実践し、他の模範となる活動
- ・他者・地域と連携したサーキュラーエコノミー推進活動
- ・他者に対するサーキュラーエコノミーに関する啓発・教育活動
- ・サーキュラーエコノミーを推進するための仕組みづくり、3R等を促進する製品の開発・普及などの活動等

※ リデュース、リユース、リサイクルのいずれか1つの取組も対象です。

また、これらの2つの組み合わせ、3つ全ての取組も対象です。

※ なお、他に比較して優れたところ、進んだところ、独自なところがあれば既に比較的普及している3Rの取組であっても対象となります。

具体的な取組事例は次のとおりです。

1. リデュース (Reduce=発生抑制)

製品をつくる時に使う資源の量を少なくすることや廃棄物の発生を少なくすること。

耐久性の高い製品の提供や製品寿命延長のためのメンテナンス体制の工夫、製品のシェアリングなどによる製品の効率的利用なども含まれます。

(取組の例)

<個人・グループ・学校>

- マイバックを持って無駄な包装は断る。他者にも啓発活動を行う。
- 詰め替え容器に入った製品や簡易包装の製品を選ぶ。他者にも啓発活動を行う。
- 耐久消費材は手入れや修理をしながら長く大切に使う。
- 利用頻度の少ないものは、レンタルやシェアリングシステムを利用する。
- 耐久性の高い製品や省資源化設計の製品を選ぶ。

<事業所・地方公共団体等>

- 製品を設計する時に、製品ができるだけ長く使えるように工夫をする(長寿命化、長期耐久設計、修理性等)。
- 製品を設計する時に、製品ができるだけ少ない材料、部品等で構成されるように工夫する(省資源化、小型化)。
- 製品をつくる時に、原材料を無駄なく効率的に使うように工夫する。
- 修理や点検等のアフターサービスを充実することにより、製品の長期使用促進に努める。
- 簡易梱包、簡易包装、詰め替え容器、通い箱等の利用、それらの普及に努める。
- 機械器具等の手入れ方法や修理方法を工夫して長期使用に努める。
- 製品のシェアリングやリース等のサービスモデルを構築し、製品の効率的利用を促進する。

2. リユース (Reuse=再使用)

使用済製品やその部品等を繰り返し使用すること。リユース品の流通促進、その実現を可能とする製品の提供、修理・診断技術の開発、リマニュファクチャリング、リペアサービスの提供なども含まれます。

(取組の例)

<個人・グループ・学校>

- リターナブル容器に入った製品を選び、使い終わった時にはリユース回収に出す。
他者にも促す活動を行う。
- リユースショップやオンラインプラットフォーム等を活用し、使用済み製品の再使用を促進する。
他者にも促す活動を行う。

<事業所・地方公共団体等>

- 製品を設計する時に、本体や部品のリユースがしやすいように工夫をする。
- 使用済製品を回収して本体や部品を再生し、再び新品同様の製品を作り出す。
- 使用済製品、部品、容器を回収し、再使用する。
- 再使用しやすいように、部品の共通化を図る。
- 修理サービスやリペア拠点を整備し、製品の長期使用を支援する。

3. リサイクル (Recycle=再資源化・再生利用)

廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用すること。

その実現を可能とする製品設計、使用済製品の回収、リサイクル技術・装置の開発なども含まれます。

(取組の例)

<個人・グループ・学校>

- 資源ごみの分別回収を呼びかける、あるいは他者を巻き込んで活動する。
- 資源ごみの効率的な分別回収を広める。
- リサイクル製品を積極的に利用する。他者への啓発活動を行う。

<事業所・地方公共団体等>

- 製品を設計する時に、使用後のリサイクルがしやすいように工夫をする。
- 製品をつくる時に、できるだけリサイクルされた、あるいは環境に配慮した原材料を使う。
- 使用済みとなった自社製品の回収・リサイクルに努める。効率的な回収システムを構築する。
- 発生した副産物・使用済製品を効率的にリサイクルする(仕組みづくりを含む)。
- 他社と連携して、リサイクルした資源を製品に再投入する仕組み(資源循環のループ)を作る。
- デジタル技術やトレーサビリティシステムを活用し、効率的な資源循環を実現する。

注釈

町の美化、公衆衛生の向上、公害防止(大気、水質等)、地球温暖化防止などは、資源の有効利用を目的とした資源循環に資する活動の付随的な効果としては評価の対象ですが、これらが主たる取り組みの場合には本表彰の対象外です。

<参考2>

過去5年間の受賞者

ご参考までに、過去5年間の受賞者を紹介いたします。

なお、過去(*)の受賞者や受賞活動概要をまとめた冊子(PDF)を協議会のWebページ「受賞者一覧」にて公開しておりますので、併せてご参照ください。

* 掲載しているのは、平成14年度からです(平成13年度は受賞者一覧のみ掲載)。

<受賞者一覧>

協議会ホームページ トップ > 「3R推進功労者等表彰」 > 「受賞者一覧」
<https://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/jisseki/>



上記URLは、右の2次元コードからもアクセスできます

<令和7年度>

内閣総理大臣賞（1件）

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 「環境変化に対応した資源循環最大化への四半世紀にわたる廃棄ゼロの連続達成」
--

経済産業大臣賞（1件）

中国電力ネットワーク株式会社 配電技術部 「簡易的な修理による配電機材のリユース推進」
--

国土交通大臣賞（2件）

株式会社大林組 東京本店 技術研究所OL3工事事務所 「国内初、建物解体後の鉄骨およびコンクリート製の構造部材を新築建物へリユース」
鹿島建設株式会社 「建設系の廃プラを回収・再資源化し、資材として工事現場に戻す資源循環の取組み」

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞（13件） ※ 受賞者名のみ

青森県立弘前聾学校
apcycle 株式会社
株式会社熊谷 株式会社ケーゼム (2者連名)
石塚硝子株式会社
大成建設株式会社 技術センター 大成建設株式会社 設計本部 (2者連名)
前田建設工業株式会社 再生骨材を活用したコンクリートによる資源循環WG
鹿島建設株式会社 関西支店 大阪・関西万博GW工区JV工事事務所
鹿島建設株式会社 北海道支店 Rapidus IIM-1 建設計画
戸田建設株式会社 TODA BUILDING 建設事業
東急建設株式会社
株式会社ボンデテック
株式会社サンボリ
東京山陽プラス株式会社

<令和6年度>

内閣総理大臣賞（1件）

大成建設株式会社 サステナビリティ経営推進本部 カーボンニュートラル推進部
日本通運株式会社 資源循環営業部
(2者連名)
「建設副産物巡回回収システム」の構築による建材サーキュラーエコノミーの実現」

文部科学大臣賞（1件）

「個人・グループ・学校」分野

SPLEA ICVs
「すべての子どもに行き届いた教育を ～家に眠るリユース品をカンボジアの子どもたちへ～」

厚生労働大臣賞（1件）

「事業所・地方公共団体等」分野

武田薬品工業株式会社 光工場 EHS 室
「国内初のPTP包装廃材のマテリアルリサイクルで廃棄物の資源循環（再資源化）を推進」

経済産業大臣賞（2件）

「事業所・地方公共団体等」分野

アマゾンジャパン合同会社
「難再生古紙リサイクル及び廃プラスチックリサイクルのクローズドループ構築」
キヤノン株式会社
キヤノンエコロジーインダストリー株式会社
(二者連名)
「複合機再生事業の拡大 ～環境性能と高品質と低価格への取り組み～」

国土交通大臣賞（2件）

「事業所・地方公共団体等」分野

戸田建設株式会社 関東支店 常総 IC 周辺地区土地区画整理事業 2・4 街区物流施設新築工事
「廃プラスチック対策の実践」
大鉄工業株式会社 大阪支店 ホーム柵推進部
「鉄道ホーム柵整備事業の建設工事における環境負荷低減活動」

環境大臣賞（1件）

「事業所・地方公共団体等」分野

株式会社ジモティー
世田谷区
(二者連名)
「2年半で69,000品、349トン、リユース率97%を超える不用品をリユースする官民連携リユース事業の構築と事業を活用した普及啓発 ～地域住民・地域企業を待ちこんだ多様な啓発活動～」

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞（6件） ※ 受賞者名のみ

男山株式会社
鹿島建設株式会社 関西支店 龍谷大学深草工事事務所
清水建設株式会社 関西支店 (仮称) 医誠会国際総合病院新築工事建設所
株式会社竹中工務店 大阪本店 GLP ALFALINK 茨木 I プロジェクト
株式会社 長谷工コーポレーション (仮称) 京急電鉄川崎区本町新築工事
株式会社エーパックスジャパン

<令和5年度>

内閣総理大臣賞（1件）

「事業所・地方公共団体等」分野（1件）

社会福祉法人 勇樹会 「使用済み紙おむつの再資源化を通じて地域における廃棄物の削減と再資源化に携わっています」
--

経済産業大臣賞（2件）

「事業所・地方公共団体等」分野（2件）

株式会社リコー 環境事業開発センター OC事業本部 グローバルリユースリサイクルセンター 株式会社リコー 沼津事業所 CMC事業本部 第一トナー事業センター（二者連名） 「無分解再生技術開発による溶着構造トナーカートリッジのリユース」
東京ガス横浜中央エネルギー株式会社 「使用済みガス機器の資源再利用（リサイクル）の推進」

国土交通大臣賞（4件）

「事業所・地方公共団体等」分野（4件）

鹿島建設株式会社 九州支店（仮称）宮古島トゥリパー地区ホテル計画新築工事 「離島における自然に優しく、環境に配慮した工事事例」
(株) 鴻池組・熊谷建設(株) 特定共同企業体 小本川災害復旧工事 「現場内流木の有価物転化・建設発生土の有効利用へのアプローチ」
前田建設工業株式会社 東明興業株式会社（二者連名） 「「廃プラ専用圧縮袋」の活用によるリサイクル率の向上と運搬時CO2の削減～東京建築支店5作業所における試行結果の報告～」
株式会社ガイアート 「基材を使用しない再生可能なクラック抑制シート「G・Asシート」の開発」

環境大臣賞（3件）

「事業所・地方公共団体等」分野（3件）

日本製紙株式会社 特定非営利活動法人 エコライフはままつ（二者連名） 「浜松市における使用済み紙製容器リサイクル事業」
東和ケミカル株式会社 「使用済みプラスチック（保管期限満了の投票用紙）のリサイクル化」
株式会社HIKONE化成 「発泡スチロール製造会社、市場等で使用された発泡スチロールの再生加工事業」

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞（18件） ※ 受賞者名のみ

十和田市立高清水小学校
豊後高田市立戴星学園
キュービー株式会社
平田運輸株式会社
株式会社田澤洋紙店 八戸営業所
トーヨーリトレッド株式会社
株式会社竹中工務店 北関東支店 TSRC 大宮作業所
鹿島建設株式会社 北海道支店 さらきとまない風力リブレース工事事務所
鹿島建設株式会社 横浜支店 (仮称) 鶴見研修センター新築工事事務所
鹿島建設株式会社 関西支店 神戸旧居留地 91 番地工事事務所
西松建設株式会社 西日本支社 中部支店 滋賀湖南出張所
成友興業株式会社
太田おもちゃ病院
くあい こやしぼの会
特定非営利活動法人あそびとまなび研究所
皆川 千里
イオンモール株式会社 イオンモール座間 株式会社大久保 コアレックス信栄株式会社 座間市リサイクル協同組合 座間市 (五者連名)
真岡児童館

<令和4年度>

内閣総理大臣賞（1件）

「事業所・地方公共団体等」分野（1件）

カットショップショー 「いつまでも人も地球も美しく」 永続する楽しい日常をつくる道を美容室からお客様へ
--

経済産業大臣賞（1件）

「事業所・地方公共団体等」分野（1件）

株式会社クリエイトエンジニアリング 「金属切削屑を再溶解用に固形化しつつ付着切削油を回収再利用する装置の開発と実用化」
--

国土交通大臣賞（4件）

「事業所・地方公共団体等」分野（4件）

株式会社竹中工務店 西日本機材センター 鹿島建設株式会社 建築管理本部 岡谷鋼機株式会社 大阪店 (3者連名) 「建設現場における産業廃棄物高効率処理システムの開発・推進 (AI 分別アプリ・新型圧縮機・産廃センサー)」
清水建設株式会社 東京支店 及び リサイクル研究会 「清水建設 (株) 東京支店内 建設作業所における、建設副産物の巡回回収、Reduce・Reuse・Recycle の取組」
西松建設株式会社 北日本支社 石狩新港西出張所 「様々な制約を受ける大規模工業団地内の建設工事における積極的3R活動」
鹿島建設株式会社 関西支店 JCR ファーマ神戸工事事務所 「設計段階からのフロントローディングと現場での取組みによる3R活動」

環境大臣賞（2件）

「事業所・地方公共団体等」分野（2件）

エフコープ生活協同組合 「子どもたちによる3Rのとりくみ」
株式会社黒田工業 「プラスチックリサイクル事業の実践と3R活動によるSDGsへの挑戦」

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞（15件） ※ 受賞者名のみ

学校法人都築育英学園 リンデンホールスクール中高学部
阿蘇市立一の宮小学校PTA
第一三共ハピネス株式会社
キャノンプレジジョン株式会社
株式会社フーゲツ
株式会社岩手村田製作所
玉津・樫谷地区開発事業の内 西神戸工場開発・造成工事
株式会社竹中工務店 北海道支店 北海道地区FMセンター建替工事
株式会社竹中工務店 北関東支店 加須物流センター新築工事
株式会社竹中工務店 大阪本店 西日本機材センター 株式会社竹中工務店 大阪本店 安全環境部 (2者連名)
株式会社竹中工務店 東京本店 日本橋高島屋S・C本館改修工事業所
西松建設株式会社 西日本支社 播磨建築出張所
鹿島建設株式会社・株式会社熊谷組 新東名高速道路 羽根トンネル工事特定建設工事共同企業体
株式会社長谷工コーポレーション (仮称) JR 東浦駅前計画新築工事
乳井町会

<令和3年度>

内閣総理大臣賞（1件）

「事業所・地方公共団体等」分野（1件）

ヤマダインフラテクノス株式会社

「研削材を何度も再使用し、産業廃棄物の発生を最小限に抑制する環境配慮型ブラスト工法」

経済産業大臣賞（1件）

「事業所・地方公共団体等」分野（1件）

ウエノテックス株式会社

「国内初となる完全自社製AIを搭載した廃棄物自動選別装置【URANOS】等の環境機器の製造・開発による3Rの促進」

国土交通大臣賞（3件）

「事業所・地方公共団体等」分野（3件）

回転式破砕混合工法研究会

「高含水比粘性土や地下茎・ガレキを含む土砂の分別除去および品質改良による現地発生土の有効利用」

公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団

「建設現場従事者向けの講習会の開催による建設副産物の3R・適正処理等の推進」

株式会社熊谷組

「伐採木と現地発生表土をリサイクルする法面緑化工法（ネッコチップ工法）」

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞（25件） ※ 受賞者名のみ

福島県南会津郡只見町立只見中学校
静岡市立千代田東小学校 4年3組
甲州市立祝小学校
株式会社静鉄ストア
株式会社ユニバース
ウォータースタンド株式会社
鴻池・剋真・松本特定建設工事共同企業体真岡市新庁舎建設工事
鴻池組・丸本組・西武建設特定建設工事共同企業体渡波稲井線道路新設工事
清水建設株式会社 東京支店 (仮称)TGMM 芝浦プロジェクトB棟新築工事建設所
清水建設株式会社 秋葉原昭和通り計画
清水建設株式会社 (仮称) 松戸市立千駄堀新病院建設事業
清水建設株式会社 竹芝ウォーターフロント開発計画
株式会社竹中工務店 東京本店 サントリーP長野M-5ものづくり棟新築工事業務所
株式会社竹中工務店 北海道支店 新日本海Fニセコホテル 新築工事
株式会社竹中工務店 大阪本店 大丸心齋橋店本館建替計画作業所
株式会社フジタ 東北支店 土木工事部三島海岸 作業所
株式会社熊谷組 関西支店 (仮称) 大阪市中央区内久宝寺町4丁目計画
積水ハウス株式会社 大阪マンション事業部
三菱地所レジデンス株式会社 関西支店
【3者連名】
西松建設株式会社 西日本支社 猪名川建築工事事務所
株式会社道端組
角谷木材建設株式会社
ふれあいフリーマーケット実行委員会
エフコープ生活協同組合
水島エコワークス株式会社
弘前おもちゃ病院
株式会社富山環境整備



限りある地球の資源を大切に！

◆リデュース・リユース・リサイクル推進協議会は

消費者・教育機関・産業界・行政など多くの主体と連携しつつ日本全国で3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再資源化・再生利用）、資源の循環利用を推し進めてゆくことを目的としています。

本協議会は、リサイクル推進協議会として平成3年9月に発足いたしましたが、3R推進の重要性を認識し、循環型社会の形成の一翼を担うために、平成14年6月に現在の名称に変更いたしました。

循環型社会の形成に向けて3R、資源の循環利用を推し進めるために、これからも普及・啓発などの活動を積極的に行ってまいります。

協議会のホームページ：<https://www.3r-suishinkyogikai.jp/>